

二十一倶楽部忘年会 挨拶

皆様、こんばんは。

二十一設計の桑田でございます。

本日はお忙しいなか、二十一倶楽部の忘年会にお集まり下さいまして、まことにありがとうございます。

忘年会に先駆けて行われた、船井総合研究所、細井コンサルタントのセミナー、「デジタルシフト最前線」はいかがだったでしょうか。

細井コンサルタント、ありがとうございました。

私はこの「デジタルシフト」というテーマを、来年の最大の課題として会社運営を進めていく所存でございます。

私が考えるデジタルシフトとは、BIMなどのように、使いこなすべき技術者に多大のエネルギーと時間が必要なものは、あまり積極的に取り入れようとは思えません。

むしろ仕事の進め方・運用方法・コミュニケーションの中にネットワークカメラ、スマホ・アイパッドデバイス、センサーなどを駆使して、遠隔地との距離感の解消や、顧客担当者様、工事施工業者様、メーカー様などとの情報共有など、コミュニケーションツールとして

利用したいと考えております。

そのほか、設計事務所の中にはデジタルシフトでの改善の余地が山ほどあるように感じています。

この後の忘年会の出し物の中でも、デジタルシフトの一端に触れて頂くことが出来るのではないかと思います。

どうぞ、共にご参加下さり、楽しんで頂ければ幸いです。

さて、令和元年の今年1年、世の中ではいろいろな出来事がありました。

今年は何ととっても、平成から令和へ元号が変わって、新しい時代が始まった年でありました。

若い天皇皇后両陛下が、ご立派に様々な公務を行っているお姿を見て、心より尊敬の気持ちがわいてまいります。

次に印象深いのは、台風15号、19号の首都圏直撃により大きな被害がでたことです。

テレビから「命を守る行動を取って下さい」というアナウンスが頻繁に

流れて、「ダムを緊急放流します。」との話まで出て来て、いったいどうなってしまうんだろうと、大変心配をしました。

弊社も防災関係の仕事をしていますが、改めて気を引き締めて仕事に取り組まなければならないと、強く思いました。

3つ目は、スポーツイベントが盛り上がりを見せたということです。私が大ファンである、ゴルフの渋野日向子選手が全英女子ゴルフで優勝。賞金女王争いなども面白かったですよね！

又、ラグビーの日本大会で日本チームが8位と健闘したことも、印象に残っています。

株式会社二十一設計におきましても、今年一年さまざまなできごとがありました。

経営的な面だけをお話ししますと、建設業はどの会社も業績が良いとは思いますが、弊社の売上高は、今年度も前年度比で大幅な増収増益を達成できる予定でございます。

また、本年度は会社の資本金を7000万円に増資いたしました。

9月には税務署の税務調査が入りまして、今までは全く指摘のなかったような細かい項目まで、詳細のご指導を賜りました。

これは、いわゆる零細企業から小企業へのステージアップを意味するものではないかと勝手な解釈をしまして、大変勉強になり有難く受け止めております。

さて、財務体質はとりあえず整いましたので、これから私どもが行わなければならないことは、「心の資本を増強せよ」ということでもあります。

ある研究で、「自分は幸福だ」と感じている人は、感じていない人より、仕事の生産性が31%高く、創造性は3倍になることが分かったそうです。

社員の心の状態が仕事ぶりに直結し、企業業績にも直結するのは、いわれてみれば当然です。

働き手の「心の資本」の総和は会社の盛衰を左右します。

どうやったら「心の資本」を増強できるのかが、大変重要だと思います。

人の幸福感を計る、ハピネス計測技術が開発されたそうです。

人体の無意識の微小な揺らぎはその人の幸福感と密接な関係がある
とのことで、社員にゆらぎセンサーを着てもらって、どんな場面で幸
福感が高まるかを計測できるというのです。

上司が適切なタイミングで一声かけると課員の幸福感が目に見えて
あがり、業績が上昇したといます。

「デジタル」というドライなものを使って、「人の心」というウエツ
トなものをどうやって満たして行くのか、なかなか難しいことだと
感じます。

本日の「忘年会」も、まさに「心の資本を増強」という意味では、価
値のあるイベントではないかと思います。

どうか、短い時間ではありますが、共に楽しんで、お過ごしいただけ
れば幸いです。

本日は誠にありがとうございました。